

平成20年2月市会定例会提出議案

1 平成20年度京都市自動車運送事業特別会計予算

経 常 収 入	230億17百万円
経 常 支 出	234億62百万円
経 常 損 益	△4億45百万円
△ 累 積 欠 損 金	△134億46百万円
△ 不 良 債 務	△131億66百万円

<主な業務の予定量等>

年度末在籍車両数	760両 (750両)
走行キロ数 (1日平均)	80.2千km (78.8千km)
旅 客 数 (1日平均)	311千人 (305千人)
職 員 数	813人 (826人)

注 () 内は、平成19年度の数値である。

(1) 予算のポイント

経常損益は4億45百万円の赤字予算ではあるが、定年退職者がピークを迎えることに伴う退職手当の増要素を除くと黒字であり、21年度以降の黒字体質への転換という目標を達成するルネッサンスプラン最終年度の予算編成としている。

(2) 主要事項

ア 経営健全化の推進

次期5箇年経営健全化計画の策定

「京都市交通事業ルネッサンスプラン」の最終年度を迎え、目標の達成に全力で取り組むとともに、次期5箇年経営健全化計画を策定

イ お客様増加策

(ア) バス車両を750両から760両に増車し、路線の増強や観光シーズンにおける臨時バスの増発などの積極的な取組

(イ) 交通局内にプロジェクトチームを立ち上げ、市バス、地下鉄の利用状況の調査、分析を行い、戦略的な市バスの臨時増発や他の事業者とのタイアップ事業、市バス80周年を記念したイベントやPRなどを実施

ウ お客様サービスの向上

バス車両の更新 74両

バリアフリー推進のため、全車ノンステップバス等低床型車両とし、環境対策として、71両をアイドリングストップバス、残り3両は天然ガスバスを導入

(3) 財政状況

年 度 項 目		20年度予算		19年度当初予算		増 △ 減		
		億	百万円	億	百万円	億	百万円	%
経 常 損 益	営業収益	195	39	191	24	4	15	2.2
	運送収益	183	52	179	34	4	18	2.3
	その他	11	87	11	90	△	3	△ 0.3
	営業外収益	34	78	36	38	△	1 60	△ 4.4
	収入計	230	17	227	62	2	55	1.1
	営業費用	226	66	222	43	4	23	1.9
	経常人件費	77	78	81	59	△	3 81	△ 4.7
	退職手当	22	05	15	48	6	57	42.4
	経費	105	11	104	47		64	0.6
	減価償却費等	21	72	20	89		83	4.0
営業外費用	7	96	8	63	△	67	△ 7.8	
支出計	234	62	231	06	3	56	1.5	
差引	△	4 45	△	3 44	△	1 01	△ 29.4	
特別損益	△	35	△	42		7	16.7	
再差引（純損益）	△	4 80	△	3 86	△	94	△ 24.4	
△ 累積欠損金	△	134 46	△	147 18	12	72	8.6	
資 本 的 収 支	企業債	22	22	35	13	△	12 91	△ 36.7
	補助金		9		10	△	1	△ 10.0
	その他		59		33		26	78.8
	収入計	22	90	35	56	△	12 66	△ 35.6
	建設改良費	23	53	36	21	△	12 68	△ 35.0
	投資費		1		0		1	皆増
企業債償還金	21	66	18	61	3	05	16.4	
支出計	45	20	54	82	△	9 62	△ 17.5	
差引	△	22 30	△	19 26	△	3 04	△ 15.8	
△ 不良債務	△	131 66	△	145 08	13	42	9.3	

(4) 企業債の状況

年 度 項 目	19年度末 未償還残高	年 度 内 増 △ 減			20年度末 未償還残高
		発行額	償還額	差引	
	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円
建設企業債	114 34	22 21	21 66	55	114 89
出資債	0	1	0	1	1
合計	114 34	22 22	21 66	56	114 90

2 平成20年度京都市高速鉄道事業特別会計予算

経常収入	272億32百万円
経常支出	430億85百万円
経常損益	△158億53百万円
現金収支 (償却前損益)	△57億22百万円
△累積欠損金	△3,062億11百万円
△不良債務	△323億35百万円

<主な業務の予定量等>

年度末営業キロ	31.2km
年度末在籍車両数	222両[37編成]
走行キロ数 (1日平均)	56.0千km (51.9千km)
旅客数 (1日平均)	332千人 (319千人)
職員数	587人 (645人)

注()内は、平成19年度の数値である。

(1) 予算のポイント

太秦天神川延伸開通に伴う運輸収益の増などにより、経常損益は158億53百万円の赤字ではあるが、19年度より6億14百万円改善している。また、23年度での黒字化を目指している現金収支は、57億22百万円の赤字で、19年度より9億20百万円改善している。

(2) 主要事項

ア 経営健全化の推進

(ア) 次期5箇年経営健全化計画の策定

「京都市交通事業 ルネッサンスプラン」の最終年度を迎え、目標の達成に全力で取り組みむとともに、次期5箇年経営健全化計画を策定

(イ) 地下鉄駅職員業務の一部民間委託化の推進

新たに北山、五条、二条の3駅を委託

(ウ) 高金利建設企業債の借換え

利息負担の軽減を図るため、国制度を活用し高金利建設企業債を借換え

イ 増収増客策

(ア) 交通局内にプロジェクトチームを立ち上げ、市バス、地下鉄の利用状況の調査、分析を行い、「地下鉄沿線エリアマップ」の積極的な活用、他の事業者とのタイアップ事業などを実施

(イ) 駅ナカビジネスと広告販売の促進

ウ 安全で快適な地下鉄の運行

(ア) 気象庁の緊急地震速報を運転中の列車へ自動通報するシステムの導入

(イ) ホーム階とコンコース階を遮断する防火扉等の設置

(ウ) 多目的トイレへの改修

(3) 財政状況

年 度		20年度予算		19年度当初予算		増 △ 減				
項 目		億 百万円		億 百万円		億 百万円 %				
経 常 損 益	営業収益	244	36	236	75	7	61	3.2		
	運輸収益	230	71	223	53	7	18	3.2		
	その他	13	65	13	22		43	3.3		
	営業外収益	27	96	28	29	△	33	△ 1.2		
	収入計	272	32	265	04	7	28	2.7		
	営業費用	308	01	302	94	5	07	1.7		
	経常人件費	54	72	55	63	△	91	△ 1.6		
	退職手当	10	58	8	89	1	69	19.0		
	経費	140	30	137	46	2	84	2.1		
	減価償却費等	102	41	100	96	1	45	1.4		
営業外費用	122	84	126	77	△	3	93	△ 3.1		
支出計	430	85	429	71	1	14	0.3			
差 引	△	158	53	△	164	67	6	14	3.7	
現金収支(償却前損益)	△	57	22	△	66	42	9	20	13.9	
特別損益	△	44		2	80	△	3	24	△ 115.7	
再差引(純損益)	△	158	97	△	161	87	2	90	1.8	
△ 累積欠損金	△	3,062	11	△	2,910	76	△	151	35	△ 5.2
資 本 的 収 支	企業債	281	27	340	31	△	59	04	△ 17.3	
	補助金	3	40	3	93		△	53	△ 13.5	
	出資金	86	14	100	81	△	14	67	△ 14.6	
	その他	1	83	20	07	△	18	24	△ 90.9	
	収入計	372	64	465	12	△	92	48	△ 19.9	
	建設改良費	24	73	154	87	△	130	14	△ 84.0	
	投資費		32		0			32	皆増	
企業債償還金	381	12	331	96	49	16		14.8		
その他	16	00	13	06	2	94		22.5		
支出計	422	17	499	89	△	77	72	△ 15.5		
差 引	△	49	53	△	34	77	△	14	76	△ 42.5
△ 不良債務	△	323	35	△	308	06	△	15	29	△ 5.0

(4) 企業債の状況

年 度	19年度末 未償還残高	年 度 内 増 △ 減			20年度末 未償還残高
		発 行 額	償 還 額	差 引	
項 目	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円
建設企業債	2,757	[168 185]	[168 347]	17	2,595
出 資 債	0	32	0	32	32
特 例 債	157	20	20	△ 24	157
資本費平準化債	160	75	0	75	235
資本費負担緩和分企業債	773	72	13	59	832
計	3,849	353	381	△ 27	3,821

(注) 発行額及び償還額の上段〔 〕は、建設企業債借換分で内数である。